

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウイリアム・ビル・ボイド

率先しよう

Weekly Report

創立: 1980年(昭和55年)1月10日
会長: 遠山 義郎
幹事: 天野 正明
会報委員長: 稲垣 豊
例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
会場: ヒルトン名古屋
事務局: 460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
MAIL: 2760nagoya@mizuho.rc.jp
URL: http://www.mizuho.rc.jp/

第1301回例会

家族月間

2006年12月21日(木) 曇 第23回

司会: (梅村昌孝会場委員)
斉唱: 「それでこそロータリー」
ビジター: 台北延平RC 黄鴻源会長(PACKING)
林萬益国際主委(HITECH)
余東昇班長(P.P.TOKYO)
李武弘前社長(P.P.CROWN)
許溫候(WINSTON)
余文凱さん(班長のご子息)

会長挨拶

遠山義郎会長

今日は、台北延平ロータリーのバックン会長、PPクラウン、PPトウキョウ、国際奉仕委員長のハイテクさん、ウインストンさん、多くの皆さんが、瑞穂ロータリーの例会に参加して頂きまして有難うございます。15時からの懇談会を宜しくお願いいたします。



瑞穂ロータリーの会員の皆さまの中には、年賀状をずいぶん前から止められた会員もお見えますが、私は毎年このことながら出すか止めるか困っています。平成の大合併で市町村名が変わりましたので、特に迷っております。その年賀状ですが特殊郵便物になったのは案外古くて、先ずは東京で始まり、1906年(明治39年)には全国で取り扱われるようになりました。今年で丁度100年です。

さて、今年も残り時間が少なくなりました。今日あたりから、クリスマスパーティーが多いと思いますが、イエスキリストは紀元・元年に生まれたのではなく、紀元前7年に生まれ、紀元後30年に亡くなったという話があります。ヨーロッパの冬は、夜が長く太陽が恋しいので、冬季が過ぎて一日、一日、日照時間が伸びて春になっていくの喜び、当時の人々が信仰していた太陽神ミトラのお祭りを、キリスト教になってからクリスマスにしたそうです。サンタクロースは実在の人物で、紀元後271年に、トルコで生まれた聖ニコラスという人ですが、キリスト教の司祭で、船乗り、パン職人、子供達の守護聖人でもあったので、子供達に慕われてクリスマスとセットになったそうです。今年も残り10日間で2007年です。本当に時間の過ぎるのは早いです。漫画家の手塚治虫さんは「人間は何万年も、あした生きるために今日を生きてきた」と言いました。私の好きな言葉です。今年度の斎藤ガバナーは「ロータリーは人生の余白である。余白に何を描くかはあなた次第です」と言われています。これも私の好きな言葉になりました。今日の例会で会長職も半分終わります。クラブ運営に対して皆さまのご協力に感謝を申し上げます。皆さんと一緒に、元気に新しい年を迎えたいと思います。

幹事報告

天野正明幹事

- ・本日は第3回クラブフォーラム年次総会です。各委員会上期反省会はありません。
- ・本日15時から台北延平RCとの懇談会です。4階「桜園の間」で行います。
- ・本日は上期最終例会です。次回は1月11日(木)創立例会です。12時30分から14時45分までご退席なきようお願い致します。
- ・12月30日(土)から1月8日(月)まで事務局はお休みです。

出席報告

市岡正蔵出席委員

会員72名 出席57名 (出席計算人数52名)

出席率82.7%

12月14日は補填により 94.23%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋南			2/7(水)
名古屋北			2/9(金)
名古屋東			2/5(月)
名古屋守山			2/7(水)
名古屋東南	1/24(水)		2/7(水)
名古屋名東			2/6(火)
名古屋名北			2/7(水)
名古屋千種		1/30(火)	2/6(火)
名古屋大須		2/1(木)	
名古屋栄			2/5(月)◆
名古屋名南			2/6(火)◇
名古屋昭和	1/15(月)		2/5(月)
名古屋錦			2/6(火)
名古屋東山			2/8(木)
名古屋葵			2/8(木)※
名古屋空港	1/15(月)		
名古屋清須		1/23(火)	
尾張中央		1/24(水)	
豊山一城北			1/30(火)

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。

◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

ニコボックス

市岡正蔵ニコボックス委員

- ・1)台北延平RC30周年の打合せに来名致しました。
- ・2)スコッチウイスキーロイヤルサリュート21年もの3本、皆様で飲んで下さい。
台北延平RC一同
- ・結婚20周年のお祝いに、奥さんにネックレスを買いました岩崎さんにお世話になりました。皆さんも奥さんにどうぞ。また、水谷先生に奥さんがお世話になりました。ありがとうございました。
平野 好道さん
- ・今年もお世話になりました。来年もよろしくお願い致します。
宗宮 信賢さん
- ・会場委員会反省会、ご出席ありがとうございました。会費の残金です。
高木 勝さん
- ・先日は、遠山会長にお世話になり、ありがとうございました。明日のゴルフ会総会、都合により欠席します。内田幹事、お世話かけます。
稲葉 徹さん
- ・今年最後の例会となります。皆様、よいお年をお迎えください。
江口 金満さん
- ・妻・明子の誕生日(1月3日)祝いにきれいなお花をありがとうございました。
田中 政雄さん

- ・本年一年ありがとうございました。 **森 恒夫さん**
- ・今年もいよいよ終わりです。一年間よくお世話になりました。 **嶺木 一夫さん**
- ・先週のクリスマス家族会は有難うございました。例会時に訳ありのボールペンがなくなりました。マイツタナー **内田 久利さん**
- ・延平の皆様をお迎えて **松井 善則さん**
- ・本年もお世話になりました。皆様良いお年を。 **田中 隆義さん**
- ・2006年度最後の例会となります。皆様良いお年をお迎ください。 **佐藤 善乙さん**
- ・一年間お世話になりました。来年もよろしくお願ひ申し上げます。 **岩本 成郎さん**
- ・本年は色々有難うございました。来年もよろしくお願ひします。 **森 真佐雄さん**
- ・延平ロータリーの方々ようこそ!! **岡村 達人さん**
- ・2006年最後の例会となります。皆様良いお年をお迎ください。 **高須 洋志さん**
- ・一年間お世話になりました。 **渡辺喜代彦さん**
- ・クリスマス家族会の二次会では遠山会長にお世話になり、有難うございました。 **天野 正明さん**
- ・クリスマス家族会では久し振りに皆様と楽しく過ごすことができ、有難うございました。また、二次会では遠山会長にお世話になり、感謝致します。 **館 健吾さん**
- ・台北延平ロータリーの皆様の訪問、有難うございます。今日の例会で半年が終わります。ご協力が有難うございました。昨日は野崎さんに大切な話を立ち話で失礼しました。 **遠山 堯郎さん**
- ・1)台北延平ロータリークラブの皆様を歓迎して。
- ・2)年末最終例会を迎えて。 **本多 清治さん**
- ・今年もよいことがありました。会員の皆様に深謝。 **高村 博三さん**
- ・1)女房の誕生日の花を有難うございます。
- ・2)一年間有難うございました。 **八木沢幹夫さん**

つまでも。それでは、皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。



台北延平RC会長挨拶

黄鴻源 (PACKING) 会長

名古屋RC遠山会長、前会長の皆様および貴社メンバーの皆様こんにちは。私はただいまご紹介に預かりました、台北延平RCの社長を務めておりますPACKINGでございます。本日は弊社の国際奉仕委員長HITECHさんと2人の前会長とともに、貴社の例会に参席することができ、誠に光栄かつ喜ばしいことだと存じております。また、貴社の皆様より熱情あふれる歓迎と招待を賜り、感謝に堪えません。心より御礼申し上げます。この度私たちは、来る2007年3月15日、弊社の創立30周年記念大会に、皆様のご光臨を仰ぎに台北より参上致しました。どうかその節は、ぜひ皆様のご多数なるご参加を期待し、この席をお借りしまして宜しくお願ひ申し上げます。なお、弊社と致しましては30周年記念行事の一環として、盛大なる祝賀会の他に、NTドル200万をかけて公共芸術の象徴として、台湾で最も有名な彫刻家である、王秀杞先生による銅の彫刻作品を一つ、台北政府に贈呈する企画を予定しております。その際には、協賛単位として貴社の社名も明記させていただきますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



去る10月頃、遠山会長ご引率の元、貴社のメンバー数名で台北にお越しいただきました。多年にわたり親交を続けてきた旧友がはるばる日本からお見えになりましたことは、私たちにとって、なんとも申し上げられないほどの喜びと楽しさを満喫することが出来ました。このように、台北延平と名古屋瑞穂両社の長年の親交と友好の貴重性を、ここ数年間に新規ご加入なさいました数多くのメンバー達にも、互いに認識と理解を促進することを前提とした貴我両社のますますなる緊密の往来が出来ますよう、切に祈願致しております。

私が初めて貴社を訪問したのは、15年前のことでした。当時は35歳の若い社員でしたが、いつの間にか50歳の中年社長になりました。しかし、私から見た老友の皆様には、ほとんどお変わりがなく、皆相変わらず若々しく元気で頑張っておりますこと、誠に喜ばしく且つ、うらやましいことでございます。故に、日本へ参りまして、皆様と楽しい一時を過ごすのが、毎年私たちが最も期待しております一大事でございます。どうかこの美しい思い出をいつい

第3回クラブフォーラム

議長:遠山堯郎会長 進行:天野正明幹事

それでは、第3回クラブフォーラムを開催致します。

次年度の理事・役員案について

次年度幹事予定者の西本哲さんより、次年度の理事・役員案が読み上げられ、審議後満場一致で承認されました。

2007~2008年度クラブ役員理事構成

会 長	岩 本 成 郎	役 員
副 会 長	増 田 盛 英	役 員
会 長 エ レ ク ト	松 井 善 則	役 員
直 前 会 長	遠 山 堯 郎	
幹 事	西 本 哲	役 員
会 計	岡 村 達 人	役 員
S . A . A	守 谷 巖 樹	役 員
副 S . A . A	長 瀬 憲 八 郎	
副 幹 事	田 口 豊	
クラブ奉仕委員長	高 須 洋 志	理 事
職業奉仕委員長	高 木 勝	理 事
社会奉仕委員長	田 中 政 雄	理 事
国際奉仕委員長	平 野 好 道	理 事
会員選考委員長	天 野 正 明	理 事
親睦活動委員長	長 坂 邦 雄	理 事
新世代委員長	松 波 恒 彦	理 事
ローターアクト委員長		
会場委員長	渡 辺 喜 代 彦	理 事
R 財 団 委 員 長	伊 藤 豪	理 事
プログラム委員長	近 藤 雄 亮	理 事
長期ビジョン(クラブ管理運営)座長	大 島 浩 嗣	理 事

2006～07年度会長挨拶：岩本成郎次年度会長

大変な役を仰せ付かりました。今の心境を一言で言えばまさに「来し方を振り返り 行く末を案ずる」といった感じです。一抹の不安も感じておりますが、本日ここに立派な役員並びに理事の素晴らしいメンバーをご信任頂きました。本当にありがとうございます。そういった訳で今日から一つ、気持ちを新たに、モチベーションを高める努力をして参りたいと思っております。高い席からではございますが、ご指示・ご協力の程、よろしくお願い致します。有難うございました。

2006～07年度下期予算案について：天野正明幹事

当初予定しておりました西名古屋分区分I.M.ですが、12,000円を予定しておりました所、13,000円に決まりました。予算より1,000円上がります点について、皆様のご承認をいただきたいと思っております。…満場一致で承認されました。

名古屋瑞穂ロータリーのクラブテーマについて：天野正明幹事

お手元にある名古屋瑞穂クラブ・テーマ案につきまして、皆様からいろいろご提案頂きましたが、「熱田の杜・友愛・気品」というテーマがいいのではないかと長期ビジョン委員会より提言がありました。熱田さんが持っている様々な意味合いと、友愛は我々仲間のこと、気品は我々が目指すべき、あるべき姿と言うことでこれらをテーマとして取り上げました。英語版のまとめは、専門家に意見を聞きまとめました。少なくとも5年ほどは同じテーマを持ち続けてはどうかと言うことでございます。…満場一致で承認されました。

<遠山会長>

それでは、これを来年の1月からの瑞穂ロータリーのクラブテーマと致します。最低5年以上は継続したいと思っておりますので、ご協力お願い致します。

ホテル飼育事業に関する提言

かねてから皆様にもご意見を伺い、長期ビジョン委員会においても数度にわたる検討を重ねて参りました。中心になってまとめて頂いた高須さんにご説明をお願い致します。

<高須洋志さん>

長期ビジョン委員会より、理事会に対して提言を致しました。(高須洋志さんによってホテル飼育事業に関する提言が読み上げられました。)

理事会が12月7日に開催され、役員5名、理事8名、合計13名の出席者の賛成を持って、長期ビジョン委員会の提言は承認されました。従って結論としては、長期ビジョン委員会の提言、および理事会の決定を経て、ホテル飼育事業から撤退することと致しました。

<遠山堯郎会長>

この件につきましては、賛成か反対を簡単に採決をとってしまいうのもいかなものかと思っております。ご意見、ご質問があればいただきたいと思っております。

<質問>

熱田神宮関係者への十分な説明と理解を得ることはすでに終わっているのでしょうか？

<遠山堯郎会長>

まだ終わっておりません。理事会および年次総会が終わらないと動き出せない状況でございます。ご承認頂いたとしても、①「瑞穂RC会員の理解を深める努力をすること」②「熱田神宮関係者への十分な説明と理解を得ること」③「学校関係者への説明会の開催」は大変重要な課題でございます。

<質問>

熱田神宮さんでは継続していきたいという希望がある場合もあると思っておりますので、もう少し考えた方がよいのではないのでしょうか？あるいは他のRC・団体をお願いできないのでしょうか？

<遠山堯郎会長>

そういった団体が現れてくれれば大変有難いと思っております。一番の問題は、今までご助力頂いた熱田神宮の関係者と飼育に協力頂いた小学校に対して、いかに説明をしてご納得頂けるかということだと思っております。RIの方針は、一事業に対して次に継承できるように、3～5年のサイクルで奉仕活動をなささい」となっております。いまままでご協力頂いた方々に御理解を求めるとも大きな問題だと思っております。

<遠山堯郎会長>

(ホテルの観賞など、見学に来る人達がいるが夜は足元が暗く危

険である・不安全要素があるという事について)

私も今年、ホテルを見に行きましたが、雨が降っておりまして、そんな中で転んで怪我や事故が起きた場合、保険をかけておりませんので、大きな問題になる可能性があります。(松井善則さんからの意見を受けて)

各小学校関係者への説明については、環境保全委員会や社会奉仕委員会にだけ任せるのではなく、クラブとして責任ある態度で、責任ある立場のものがでてディスカッションして欲しいということで承りました。

<馬場将嘉環境保全委員長>

長年ホテルに関わっておられた方の意見の方が、私の意見より重要かと思っております。そして先ほどのお話しにもありましたが、長年携わってこられた熱田神宮の関係者の方々、それから飼育をお願いしている小学校への説明は、瑞穂RCが主体となって活動をお願いしておりますので、説明責任を果たさなければならないと思っております。いずれにしても環境保全委員長としましては、今までの活動をどういった形で伝えていけるかが大切だと思っております。

<景山和明さん>

いろいろ考える所はございましたが、いずれにしても残念だと思えました。せせらぎだけは残しておいてもらいたいと思えます。今後、人の手を加えずとも、数匹は自然発生するのではないかなという気がしております。

<遠山堯郎会長>

今まで出てきた意見をまとめますと、事後処理をきちんと行うべきであるという事でございます。本当に今まで一生懸命にやっけて頂いておりましたので、がっかりしたという意見も本音であると思えます。せせらぎを残してもらいたいという話もよく分かりましたので、また理事会において検討したいと思っております。

<高須洋志さん>

ホテル飼育事業の中止の意見をまとめたのは私ですが、一番の問題だと思えたのはホテルそのものよりも、人工飼育するために餌が必要だと言うことが問題なのであります。餌となるカワニナは人工飼育が難しく、自然界から採取して参ります。そうして採取することによって、自然発生している地域の生態系を破壊しているということが言えます。その事が飼育を中止しようと思った根拠になっておりまして、ホテルの幼虫を育てるために環境破壊を起こしている可能性があるということでもあります。

<遠山堯郎会長>

今ご説明がございましたが、関連する本を読んでみますと、小中学校におけるホテルの育成・ピオトープはいいけれども、一般社会でのホテルの飼育については、考えるべきだという提言が多いのも事実です。1992年に市街地からメダカが消えたということも大きな問題となっております、それとともに生態系の攪乱が叫ばれております。

<意見>

各小学校にホテルの飼育をお願いするとき、熱田神宮の貴重な森と水を、周辺で生活している人達が守っていく事が必要であり、環境を大切にすることによって始めたのがホテルの飼育です。私どもも、自然を守るためにホテルを飼育すると説明しておりましたので、熱田神宮さんの森と水をしっかり守っていくことだけは、ホテルの飼育事業を辞める際には説明をして頂きたいと思っております。

<遠山堯郎会長>

せせらぎを守ると言うことですね。

<意見>

せせらぎだけではなく、熱田の杜、湧き水などいいものがありますので、そういったもの全てです。

<意見>

多数決の時代かも知れませんが、物事には総意で決めるということも大事だと思います。いろいろな意見が出ましたが、皆さんが納得して中止をするというのが望ましく、総意というのが非常に大事であると思っております。

<遠山堯郎会長>

中止か継続か、どちらにしても熱田神宮さんとの契約があと半年でできます。いろいろ問題は山積しております。長期ビジョン委員会でも1年以上検討して参りましたが、紛糾致しました。あとは理事会等で検討して参りたいと思っておりますが、今日現在の方針は、理事会承認事項を取り急ぎご納得頂くということでいかがでござ

いでしょうか?このままご納得頂けなければ、理事会承認が白紙に戻ると言うことですが…ここで大島長期ビジョン委員長にご発言を頂きます。

<大島浩嗣長期ビジョン委員長>

長期ビジョン委員会の大島でございます。この問題につきましては長期ビジョン委員会として昨年より5回ほど討議を重ねて参りました。その過程の中で、当初の瑞穂RCがホテルの飼育に取り組んだ経過は、あくまでもその目的は自然発生的に熱田の森にホテルが舞う、ということが一つの目標であったかと思えます。残念ながら15年経過した今、自然発生的にホテルが舞う状態まで到達していません。こうした過程の中でこのような問題が起きてきたのではないかと思います。そういった点と、予算等の問題も出ておりましたが、いずれにしても瑞穂RCが力を入れる以上に、熱田神宮の関係者の皆様が大変な努力をお願いしてきたということも事実でございます。その辺りとこの問題を提起された森真佐雄さんからのご指摘などを勘案して、結論を出さなければならぬ時期に来ております。せせらぎなどは出来るならば今のまま残して、その中でホテルが自然に発生するのであれば、それはそれでよしとするべきではないかと思います。どちらにせよ来年の6月を持って熱田神宮さんとの契約も切れますので、出来ることであれば私としては、皆さんに御理解をいただいて、この問題についてある程度の答えを出さざるを得ないのではないかと、そのような気がしておりますのが事実でございます。

<遠山堯郎会長>

ただいま、長期ビジョン委員会の大島座長から経緯を説明して頂きました。理事会承認につきましては、もう一度2月のクラブフォーラムおよび1月、2月の理事会において再調整するというところで、いかがでございましょうか。その間に長期ビジョン委員会の開催をお願い致します。本日はこの場で賛否をとるのではなく、理事会で議論された意見を述べさせて頂き、終了致します。ご協力有難うございました。

ロータリーワールド

12月は家族月間

「ドイツの青少年交換学生がオリンピックを体験」

ロータリー青少年交換学生、レナード・ハートウィッヒさんは、一人乗りのそりで競うリュージュを得意としていました。何といても彼は、冬のスポーツを生み出したアルプスの麓にある国、ドイツの出身だったからです。しかし、ホストファミリーにオリンピックのリュージュ選手がいることは、交換前には聞かされていませんでした。

それを知ったのは、米国ニューヨーク州、レメンに着いた数日後のことでしたが、その時に聞かされたのはこれだけではありませんでした。なんと、2006年冬季オリンピックのリュージュ観戦に彼自身が行くことになったのです。

2月8日、ハートウィッヒさんは、世界最高のリュージュ選手たちと競うホストファミリーの娘、エリン・ハムリンさんを応援するため、イタリア、トリノ行きの飛行機に乗り込みました。ハートウィッヒさんのこの旅行は、両親、地元ロータリー・クラブ、そして複数のロータリー役員からの承認を得ての旅でした。

アメリカ勢最年少、19歳のエリンさんは、女子シングル競技に参加し、4試合を終えた後、30名中12位という成績を収めました。今回がオリンピック初舞台のエリンさんですが、この日のために13才のときから訓練を重ねてきました。ハムリン一家が交換学生を受け入れようと思ったのも、実は、ニューヨーク州、レークプラシッドでトレーニングを受けるエリンさんが、年に10カ月以上家を空けていたからです。

イタリア滞在中、ハートウィッヒさんは、もう一人のロータリー青少年交換学生と偶然出会いました。ハートウィッヒさんのホスト・マザーであるエイリーンさんが、大会会場でドイツのジルケ・オットー選手のファンクラブ会員とたまたま交わした会話の中から、ファンの一人がマレーシアからの交換学生を受け入れていることを知ったのです。

「ロータリー青少年交換がいかにして人と人とを結びつけてくれるかをまさにぴったりと表す例でしょう」ハートウィッヒさんは言います。



右から：イタリア、トリノで開催された2006年冬季オリンピックで、アルプス山脈を満喫するドイツの青少年交換学生、レナード・ハートウィッヒさんとホスト兄弟のシーンさんとライアンさん

「ポリオ禍の終焉に向けて、世界が新たな決意」

ポリオの撲滅は本当に実現可能なのかと疑問視する人々がいる中、それに対して次のように言った人がいます。「疑いの心をなくしてください。私たちにはできます。そして、私たちは必ずやり遂げます」。

これは、世界保健機関事務局長の李鍾郁氏が、世界保健総会の報告書に記した最期の言葉です。この報告書は李事務局長が突然死去された5月22日の前日に書き上げられたものでした。没後公開されたこの報告書は、各国の代表者から全会一致で承認を受けました。

ポリオ蔓延国はわずか4カ国(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)を残すのみとなり、再感染国での発症も組織的に減少または食い止められていることが、世界保健機関の方針を定める総会で発表されました。

総会は、この目覚ましい進展を認識し、ポリオ撲滅の世界的活動の最終段階を支援することを決議しました。この新たな決意を裏付けるかのように、スイス、ジュネーブで総会が幕を閉じた5月26日、ベニンにおいてポリオ予防接種キャンペーンが開始されました。

内閣のほぼ半数にあたる11名の政府閣僚が、新しく選出されたヤイ・ボニ大統領に加わってキャンペーンの発足に参加しました。ベニンは、原生ポリオ・ウィルスの世界最大の貯留国であるナイジェリアの隣国として、国境を越える病原感染の緩衝国となっています。

「キャンペーンの発足は、単に団結を示すというよりも、ベニンからポリオを追放することへの政府の誓いです」とヤイ大統領は言います。「従って、ポリオとの闘いに立ち向かうあらゆる人々は、子供たちを死に至らしめるポリオをアフリカ大陸から撲滅するという崇高な使命を達成できるよう、志をさらに高める必要があるのです」

「ポリオとの闘いに立ち向かうあらゆる人々は、この崇高な使命を達成できるよう、志をさらに高める必要があるのです」

—ヤイ・ボニ大統領

アジアで最高のポリオ発症件数が報告されるインドでも、5月に同様の決定が行われました。インドのポリオ・プラス委員会は、インド政府との方策会議の後、インド映画界のスターたちの協力を得て、メディア・キャンペーンを発足しました。キャンペーンでは、特にインドで最も感染率の高いウッタルプラデシュ州で完全に予防接種が行われるよう、地域社会の人々を動員することを目標としました。

今週行事

1月11日(木)

創立記念例会：12:30~14:45

於：ヒルトン名古屋 4階「桜の間」

次週卓話

1月18日(木)

会員卓話：高須洋志さん

テーマ：「ローターアクト活動について」